

指先と材料の相互作用から触感の物理的メカニズムを探る

#感性工学

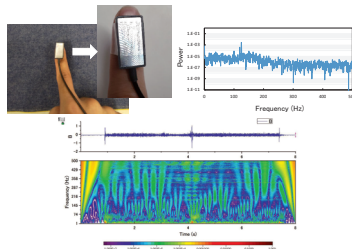
#界面化学

#レオロジー

#ソフトコンピューティング

研究内容

- 「しっとり」「さらさら」といった触感や、快・不快を決定づける物理的因子を解明しようとしています。
- 加速度センサー、6軸力覚センサー、摩擦計測などにより、触るときの動作や力を計測することで、どのような触感を感じているか、また快か不快かを推定しようとしています。
- データ解析には、周波数解析や人工知能を用い、被験者による官能評価と比較することで、機器測定による感性の推定を行おうとしています。
- 本研究は繊維製品や化粧品の開発、医療・福祉分野、触感の遠隔伝達に応用することを目指しています。



Develop+
応用分野

医療・福祉分野、ヘルスケア製品・繊維製品、ロボット工学



秋山 庸子 AKIYAMA Yoko

環境エネルギー工学専攻 准教授
環境資源・材料学講座 量子線生体材料工学領域



1F
2050

論文・解説など

- 秋山 庸子, 皮膚表面における塗布物のトライボロジーと触感評価, *Cosmetic stage* 15(4) 1 - 7, (2021).
- 秋山 庸子, 界面相互作用の観点からとらえた触感, *色材協会誌* 93(2) 37 - 41, (2020).
- 秋山庸子(編著), 感覚重視型技術の最前線〜心地良さと意外性を生み出す技術〜, (株)CMC出版 2018年.

連絡先HP



いきもの
— AI 共創工学